

授業コード / Code	科 目 名 / Course Title	担当者 / Instructor	履修年次 / Semester	授業形態・単位数 / Style・Credits	必修選択の別 / compulsory subjects or optional subjects
j40109	子どもの遊び I	荒牧 光子	1年次・後期	講義・2単位	保育士選択必修

授業の概要 / Course Outline
子どもをとりまく様々な文化的環境について学び、子どもの発達に深く関わる「子ども文化」の機能についての理解を深める。保育士・幼稚園教諭として、活動を実践していく際に必要な能力と知識と実践力を形成する。

到達目標 / Attainment Objectives	ディプロマポリシーとの対応関係 / Relationship with the diploma policy
子ども遊びに関心を持つ	A-② C-②
活動を組み立てるマネジメントを学ぶ	A-② B-①
教材創作の方法を学ぶ	A-② C-②
遊びの種類を増やし保育士・幼稚園教諭としての実践力を身に着ける	A-② C-①

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation		
種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記) End of Semester Examination (Written)	0%	
レポート試験 Report Examination	50%	指定された課題への取り組みにより評価
実技試験 Practical skill test	0%	
平常点評価 Continuous Assessment	50%	授業内での聞く姿勢や実践への積極的な参加

教科書 / Textbooks
使用しない。毎回資料を配布します

参考書 / Reference Books
特に使用しない。毎回プリントや資料を配布する

予習・復習 / Preparation・Review
授業スケジュールで示した授業内容について予習をする。授業後は、自分なりのノートづくりをする。(予習復習の時間は90分程度)

課題に対するフィードバック方法 / How to give feedback on tasks
授業内容を各自ノートにまとめる。

特記事項 / Special Note
積極的な参加が必要最低条件となる。また、保育所、幼稚園への就職希望者は履修することを推奨する。 【実務家教員】子どもルーム指導員など長年子どもと遊びを通して関わった経験をもとに、伝承遊びなど様々な遊びを実践を交えながら講義する。

授業スケジュール / Course Schedule

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

授業回数 Lecture	テーマ / Theme
	内容 / Contents
01	子どもにとって遊びとは何かを考える
	昔から子どもの世界にあるもの。また今の時代にもつないでいきたいものは何かを考える。
02	子どもと歌遊び
	音楽表現。十分に体を動かす心地よさを知る。創作しよう。
03	表現遊び・新聞紙遊び
	「身体表現」体づくり運動(多様な動きをつくる指導方法を理解する)
04	伝承遊びの体験
	身体感覚的・情緒的な経験を通して遊びのおもしろさを体験する
05	少人数遊びを考える
	2人～4人の少人数で遊べる遊びを理解する
06	身体表現としての鬼ごっこ
	多様な身体表現としてのバリエーションを知る
07	全体遊び・体育遊び
	遊びの中で多様な動きを経験し、運動全般にわたる基本的な動きを身につける
08	課題解決
	課題を達成することで仲間意識を育てる
09	子どもと造形遊びⅠ ハンカチ遊び
	ハンカチを使って どんなものができるか考えよう。
10	造形遊びⅡ タオル遊び
	フェイスタオルを使って遊びを考えよう
11	折り紙遊びⅠ
	定番の折り紙5種類は覚えよう
12	折り紙遊びⅡ
	折ったり切ったりして遊べるものを作る。
13	身近なものでおもちゃづくり
	身近なものを使っておもちゃ作りの楽しさ・創造性を知る
14	創作
	学んだことを参考にグループで遊びを創作する
15	まとめ
	創作発表 遊びについての振り返りを行う